

男女共同参画に関するアンケート実施報告

男女共同参画委員会



1. はじめに

日本地下水学会では、男女共同参画に向けた新たな取り組みとして、特に若手の男女会員の支援策に関する検討を行っています。2013年5月18日に千葉大学松戸キャンパスで開催された春季講演会では、若手交流会の場を設け、若手会員支援策に関する意見交換を行いました。併せてアンケートを配布し、今後の若手支援策に関する意見を募りました。ここでは、アンケートの回答結果について報告します。

2. アンケート回答者

アンケートには25名の方に回答を頂きました。回答者のうち、正会員が13名、準会員が2名、非会員が6名（4名は未記入）です。年齢構成は、20代の方が7名、30代の方が8名となりました。性別は、15名が男性、3名が女性となりました（7名は未記入）。専門分野としては、「地下水調査」、「数値解析」、「水質調査」に従事されている方からの回答が多くありました。

3. 若手会員支援策に関する回答

若手会員の支援策に関して、3つの質問を行いました。右に回答結果を示します。

「準会員の会費を無料にする」という設問に関しては、「賛成」が36%、「反対」が56%となりました（図1）。「準会員の年会費を無料にした場合に学会誌を配布しない」という設問に関しては、「賛成」が40%、「反対」が36%となりました（図2）。「準会員に対する講演会参加費を従来の3000円から1000円にする」という設問に関しては、「賛成」が68%、「反対」が28%という結果となりました（図3）。

4. 若手交流会（セミナー）の新設やその形式等に関する意見について

若手交流会（セミナー）の新設やその形式等に関する意見を伺った結果、多かったのは「若手中心の形式」と「座談会や懇親会の形式」とする回答でし

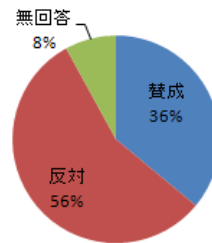


図1 準会員の年会費を無料にすることについて

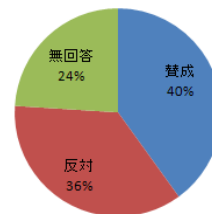


図2 準会員の年会費を無料にした場合、学会誌を配布しないことについて

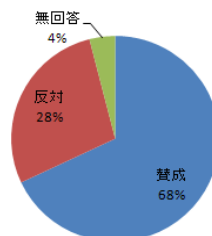


図3 準会員に対する講演会参加費を従来の3000円から1000円にすることについて

た。「若手中心の形式」としては、「若手の席を設けて同年代が集まるようにすること」や、「若手同士で研究内容に応じた数人程度のグループを作ってディスカッションをする」等の意見がありました(図4)。

「座談会や懇親会の形式」としては、「結果が明確でないものや現段階で行き詰っている事の発表の場を設ける」や「学会で発表できない水面下のテクニックなどの情報交換をする」等の回答がありました。

5. 若手支援に対する要望等, 魅力ある学会になるための意見について

若手支援に対する要望に関して, 最も多かったものは「内容の充実」でした(図5)。「内容の充実」としては, 「若手同士が知り合える機会を作る」, 「若手同士で交流しながら勉強できる場があると良い」, 「失敗談等の意見交換できる場があると充実したものになる」等の意見がありました。

「金銭的要望」としては, 「懇親会をもっと安くすべき」, 「学生の講演会参加費を安くし, 学会に参加してもらい機会を増やすことが大事」等の意見がありました。

「システム」としては, 「学会への入会方法が分からなかったので, 講演会に参加している時に入会するシステムを希望する」, 「会費削減のために若手には学会誌をPDF等の電子ファイルで送付する」等の意見がありました。

その他にも, 「学生中心で有志参加の検討委員会を設けて学会に対する要望を聞く」, 「社会の中で地下水の分野がどのように役立っているかを説明し, 興味を持ってもらう」等の意見がありました。

6. 最後に

この度は若手支援策等に関するアンケートにご回答頂き, 誠にありがとうございました。今回のアンケート結果を参考にしまして, 委員会内で具体的な検討を行いたいと思います。

現在, 若手交流会等の案内を目的としたメーリングリストの作成を予定しております。ご興味のある方や参加を希望する方は, 下記アドレスまで連絡をお願いします, また, 男女共同参画委員も随時募集しておりますので, 当委員会に参加をご希望の方も下記アドレスまで連絡をお願いします。

MAIL (日本地下水学会事務局宛): chikasui@nifty.ne.jp

(件名や文面にメーリングリスト加入や委員会参加の旨を明記して下さい)

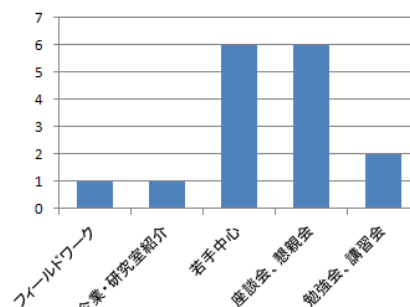


図4 若手交流会(セミナー)の新設やその形式等に関する意見

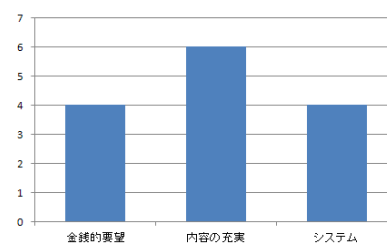


図5 若手支援に対する要望等, 魅力ある学会になるための意見